



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 研創

上場取引所 東

コード番号 7939 URL <https://www.kensoh.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 大一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 浦上 忠久

TEL 082-840-1000

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,256	18.1	56		56		42	
2020年3月期第2四半期	2,755	5.9	0		1		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.30	
2020年3月期第2四半期	3.81	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,307	2,287	43.1
2020年3月期	5,907	2,364	40.0

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 2,287百万円 2020年3月期 2,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,471	9.0	168	32.2	167	31.0	107	35.5	28.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	4,022,774 株	2020年3月期	4,022,774 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	298,195 株	2020年3月期	298,195 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,724,579 株	2020年3月期2Q	3,724,579 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(追加情報)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気が急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部持ち直しの動きが見られるものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。当社の経営成績に影響を与える建築動向は、一部建築現場での工事中断・延期などの影響もあり、先行き不透明感が増しております。

このような経済状況のもと、当社は新型コロナウイルス感染症のリスク対応を図るとともに、①製品品質の向上 ②生産性・利益率の向上 ③樹脂製サインの市場競争力強化 ④人材育成 といった重点推進課題を掲げ、課題解決に向けた取り組みを推進しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は22億56百万円(前年同期比18.1%減)、営業損失は56百万円(前年同期は0百万円の営業利益)、経常損失は56百万円(前年同期は1百万円の経常損失)、四半期純損失は42百万円(前年同期は14百万円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が手がけるサイン製品の需要は下半期に偏る一方で、固定費はほぼ恒常的に発生するため、当社は利益が下半期に偏るなど経営成績に季節的な変動があります。

また、当社はサイン製品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は21億16百万円となり、前事業年度末に比べ6億37百万円減少いたしました。これは主に売上債権が7億35百万円減少したことによるものであります。また、固定資産につきましては31億91百万円と、前事業年度末に比べ37百万円増加いたしました。

この結果、総資産は53億7百万円となり、前事業年度末に比べ5億99百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は21億55百万円となり、前事業年度末に比べ7億31百万円減少いたしました。これは主に仕入債務が3億61百万円減少したこと及び短期借入金についても2億64百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は8億64百万円となり、前事業年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は30億19百万円となり、前事業年度末に比べ5億22百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は22億87百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に配当金37百万円を支出したこと及び四半期純損失が42百万円生じたことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.1%(前事業年度末は40.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月31日に公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	484,308	575,282
受取手形及び売掛金	1,843,304	1,121,944
電子記録債権	153,171	138,878
商品及び製品	46,224	45,459
仕掛品	66,930	67,326
原材料及び貯蔵品	141,323	138,922
その他	18,848	29,070
貸倒引当金	△742	△519
流動資産合計	2,753,370	2,116,364
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	793,616	767,827
土地	1,680,159	1,680,159
その他（純額）	208,048	191,552
有形固定資産合計	2,681,824	2,639,539
無形固定資産	26,687	61,085
投資その他の資産		
投資有価証券	27,694	30,767
その他	418,532	459,792
貸倒引当金	△845	△68
投資その他の資産合計	445,380	490,492
固定資産合計	3,153,891	3,191,117
資産合計	5,907,262	5,307,482

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,296,878	935,251
短期借入金	1,168,504	903,888
未払法人税等	43,337	13,897
賞与引当金	92,475	105,836
その他	285,587	196,772
流動負債合計	2,886,782	2,155,645
固定負債		
長期借入金	243,504	447,220
退職給付引当金	148,127	152,970
役員退職慰労引当金	262,350	262,350
資産除去債務	1,655	1,667
固定負債合計	655,636	864,207
負債合計	3,542,419	3,019,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,740	664,740
資本剰余金	264,930	264,930
利益剰余金	1,535,787	1,456,437
自己株式	△106,770	△106,770
株主資本合計	2,358,687	2,279,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,155	8,290
評価・換算差額等合計	6,155	8,290
純資産合計	2,364,842	2,287,629
負債純資産合計	5,907,262	5,307,482

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,755,331	2,256,056
売上原価	1,970,549	1,611,990
売上総利益	784,781	644,065
販売費及び一般管理費	784,779	700,744
営業利益又は営業損失(△)	1	△56,679
営業外収益		
受取利息	388	315
受取配当金	835	887
受取地代家賃	975	874
貸倒引当金戻入額	-	1,000
その他	1,149	1,822
営業外収益合計	3,348	4,901
営業外費用		
支払利息	1,745	1,451
債権保全利息	3,138	3,188
その他	372	276
営業外費用合計	5,255	4,916
経常損失(△)	△1,906	△56,694
特別損失		
固定資産除却損	0	77
特別損失合計	0	77
税引前四半期純損失(△)	△1,906	△56,772
法人税、住民税及び事業税	2,727	3,369
法人税等調整額	9,563	△18,037
法人税等合計	12,291	△14,668
四半期純損失(△)	△14,197	△42,103

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△1,906	△56,772
減価償却費	66,288	56,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	943	△1,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,831	13,361
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,030	4,843
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,800	-
受取利息及び受取配当金	△1,223	△1,203
支払利息	1,745	1,451
固定資産除却損	0	77
売上債権の増減額 (△は増加)	462,957	735,652
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,982	2,771
仕入債務の増減額 (△は減少)	△521,412	△361,627
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,666	△9,963
その他の負債の増減額 (△は減少)	△168,454	△126,686
小計	△176,650	257,433
利息及び配当金の受取額	1,223	1,203
利息の支払額	△2,055	△1,579
法人税等の支払額	△39,796	△30,900
補助金の受取額	61,344	-
災害損失の支払額	△378	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156,313	226,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39,000	△39,000
定期預金の払戻による収入	39,000	39,000
有形固定資産の取得による支出	△129,475	△8,618
無形固定資産の取得による支出	△8,446	△4,255
敷金・保証金等の増減額 (△は増加)	△29,574	△28,813
貸付けによる支出	△1,690	-
貸付金の回収による収入	5,537	4,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,648	△37,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	190,000	△420,000
長期借入れによる収入	276,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△165,126	△140,900
配当金の支払額	△37,759	△37,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	263,114	△98,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△56,846	90,973
現金及び現金同等物の期首残高	357,628	352,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	300,781	443,282

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

当社の事業は、ビル建築の最終プロセスで取付が発生することも多いことから、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、一時、工事を停止した建築現場もありますので、工事遅延に伴う短期的な影響が及ぶ可能性があります。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府の緊急事態宣言によって多くの企業が在宅勤務を実施し、今後は日常生活・働き方そのものの見直しも進むと考えられますので、長期的なオフィスビル需要に影響が及び、サイン事業の需要にも影響を及ぼす可能性があります。

そのため、当社においては当事業年度(2021年3月期)の一定期間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が継続するという一定の仮定に基づいて、当第2四半期会計期間の繰延税金資産の回収可能性等を検討したうえで会計上の見積りをおこなっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。